

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

十一月十五日

十一月七日

監 第三八四號
第四三三號

大正十四年十一月十五日
大正十四年十一月廿一日

立案
決裁

淨者
書印

校者
合印

監督局長

次官

政務官

大臣

嫩草山登山電氣鐵道敷設願却下件

統計

技師

案

八番

甲

1 : 25

(奈良縣聖由)

嫩草山登山電氣鐵道株式會社
發起人 山下利平

主 命 是

大正十一年十一月十七日附申請鐵道敷
設ノ件一聽 届ケ難シ

大 臣 日

(丙)

鐵 道 省

理由

本件ハ技術上並風致上適當ナラサルモト被認
ニ付伺案ノ通却下致可然哉

鐵道 概覽

關係	鐵道網	哩程	動力	終點	經過地	起點	大正十四年六月廿九日受付	大正十五年一月十七日出版願
			電氣	監督局長 技術課長 業務課長 主任	奈良市推司字平向山晉為松番地内	業務課長 技術課長 主任	大正十四年六月廿六日	大正十五年一月十七日
			軌間	新設軌道	道路上		三呎六寸	

奈良市推司字平向山晉為松番地内
鐵道株式會社
大正十四年六月廿九日受付

本件、鐵道上並同様に直前、
野田

監督局
第423号
14. 6. 20

土第七七一五 號

大正十四年六月二十六日

奈良縣知事 鈴木信太

鐵道大臣 仙石 貢 殿

地方鐵道敷設免許申請ノ件

出願記入済

嫩草山登山電氣鐵道株式會社發起人山下利平外九名ヨリ奈良公園内嫩草山(別名三笠山)ニ遊覽登山用ノ地方鐵道敷設免許申請候ニ付調査候處遊覽旅客一ハ多大ノ便益ヲ賜フルモノト被相認候得共本願計畫ハ聊カ自然保存上遺憾ノ點有之故ト被思科候條御詮議小杜成候致度便宜成規ノ手續ヲ省略シ意見副申此段御類及進達候也

奈良縣



155

270

考 備	資本金又 十建設費	人 起 發	知 事 副 申 要 旨
	拾五系圓	山下利平外九名	<p>本會社發起人山下利平外九名ヨリ奈良公園内嫩草山(別名三笠山)ニ遊覽登山用ノ地方鐵道敷設免許申請候ニ付調査候處遊覽旅客一ハ多大ノ便益ヲ賜フルモノト被相認候得共本願計畫ハ聊カ自然保存上遺憾ノ點有之故ト被思科候條御詮議小杜成候致度便宜成規ノ手續ヲ省略シ意見副申此段御類及進達候也</p> <p>利平外九名</p>
	會社提出 利益割合	志別者分考定	

監督局

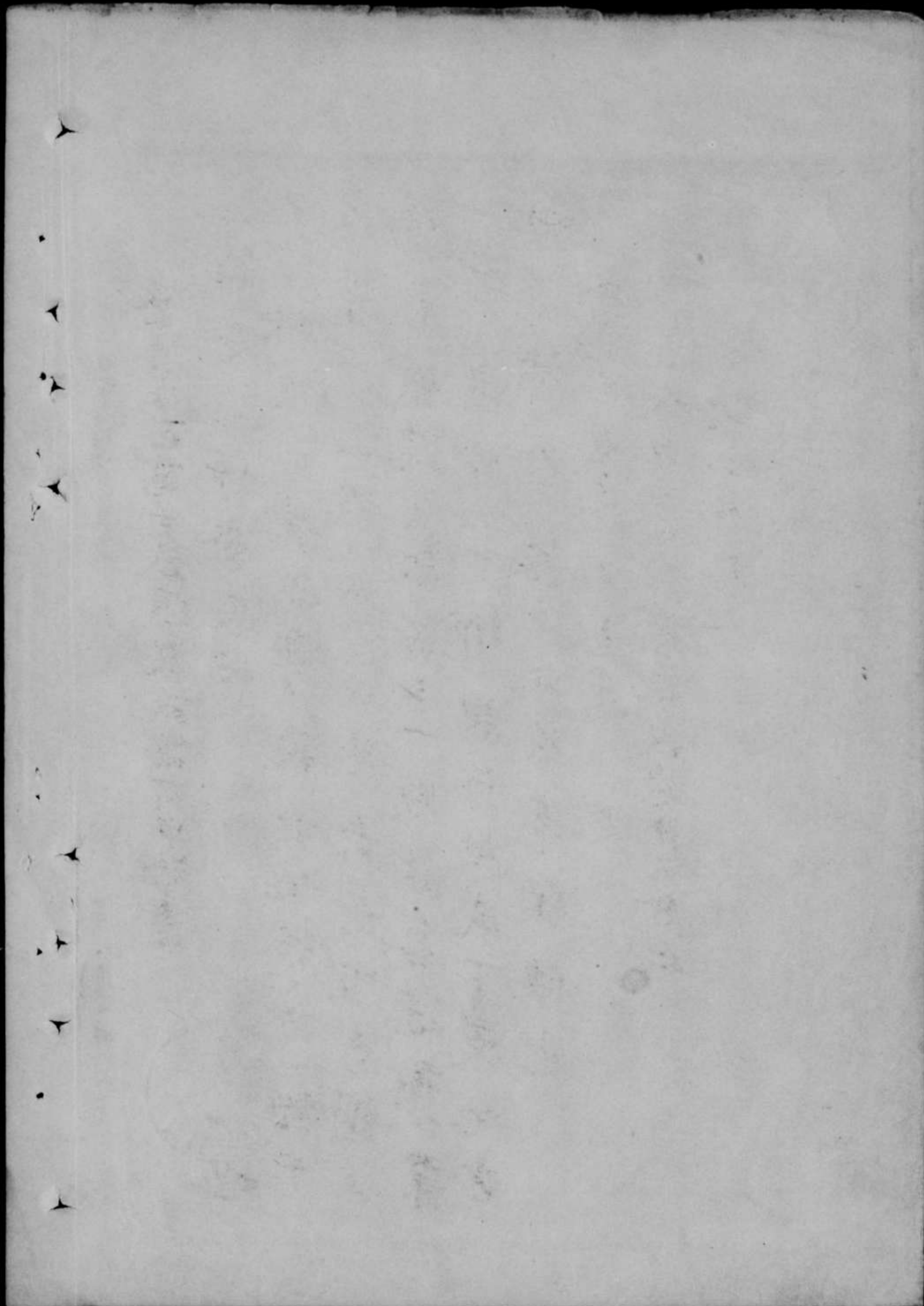
嫩草山登山電気鐵道敷設認可申請書



7715号

[Faint, illegible text within a rectangular border, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

稟
具
書



嫩草山登山電氣鐵道敷設認可申請書

今般奈良縣奈良市雜司町字手向山四百三拾番地
即々嫩草山背側面ノ森林地帯内ニ於テ
山麓ヨリ山頂ニ達スル延長七哩七鎖ノ
電氣鐵道ヲ敷設シ一般旅客運輸ノ業
ヲ營ミ度候ニ付御認可被成下度地方
鐵道法ニ準據ニ此段奉願候也

大正拾壹年拾壹月拾七日

嫩草山登山電氣鐵道株式會社

設立發起人

奈良縣奈良市春日野町貳拾貳番地ノ四

申請代表者 山下利平

奈良市 小川工務所用紙
北天滿町

奈良縣奈良市春日野町貳番地

尾田利吉

奈良縣生駒郡郡山下大字柳野町四番地

青見仙作

奈良縣添那郡東市村大字八島貳拾五番地

松石平四郎

大阪市西區南堀江上通番首拾番地

小田亀之助

大阪市西區南堀江上通番町目貳拾六番地

森谷ヤ大工

奈良縣奈良市春日野町貳番地ニ

尾田利平

Seal impressions along the right margin.

奈良縣奈良市春日野町松次郎

奈良縣奈良市雜司町老百太郎

奈良縣奈良市押上町廿六番地
尾田徳松

尾田吉吉

鉄道大臣
大木遠吉殿

奈良市
北天満町
小川工務所用紙

出願理由書

本願法許可後は株式会社但徹により別紙圖面の如き軌条をお設
し電車運轉を經營せんとする者は法府の向何卒法詮議の上法許
可被下る奉懇願候就ては電車お設趣旨并に会社將來の
計畫の一端を茲に縷述仕候

一 電車敷設趣旨

奈良市の於て覽察は一ヶ年幾何に達すべきかと云へば最近の
調査にかゝる奈良縣統計表の示す如によれば電車電車
客を合し大正五年より至る五年中最高(五年)
最高(八年)の二ヶ年を除き六七、九年の三ヶ年向に於ける一
ヶ年向の下車客平均数は實に貳百貳拾九万〇五百拾七人
の多きに達し然し年々其の増率を告げんとする傾向に法府

候、且や等々多敷の旅客が一日の清遊を次にせんとする目標
地は春日、大佛等に實見せんとする者しあれど其の多きは彼
の嫩草山に登り明媚なる風景を賞し終日嬉々として遊戯
し去らんとする者の多き事は年々春秋兩期に於ける事實
に因て見ると明瞭たる次第に法府、其の旅客中に於ける老
幼の男女等は秀麗なる山上に攀登せんとするも健脚な
らざるの故を以て山上遊覧の目的を達し得ず空しく帰途
に着く者の多きは之れまた年々春秋兩期の事實に徴し
て明かなる次第にて實に遺憾千万に法府候、爰に於て奈
良遊覧の多敷旅客をして電車の便により容易に嫩草山
山上に足を運ばしむるを得ば奈良遊覧の目的に叶ふべき
と同時に旅客の喜悦と満足を買ひ得るのみならず又た

奈良市電氣局

以て奈良公園の一景物として誇るに足るを得べしと信じ茲
に軽便電車お設計畫を企てたる次第に依て候

二 風致尊重と線路

右電車お設地矣は奈良公園に於ける風致保存上最大の
留意を拂ふべき地矣たる事は出願者等に於て承知致
し居候へば電車路お設に際しては風致悪化すべき急
勾配の直線軌条を避け同面の如き松の葉に似たる軌路
を避け以て手向山の西南麓(現在三笠食堂の下方)を起桌
とし此処より東へ更に南東にして~~麓~~生え繁れる林
向を縫ふて手向山を登り觀音山の谷間を通り嫩草
山一重目(現在楠田某借用地)の下方に達する計畫に依
て、斯くの如くなりせば鬱蒼として全山に綠系茂せる長大
なる老樹喬木によりて電車線路の全部を掩ふ事と存
るべければ下方の道路又は遠方より之れを見ると山容の
形勢には何等の變化を告げず而も電車線路は遠近よ
り眺めると此の形勢を現はさざるべく是れ松葉線
路の特長とするに依り候、然れば該線路は恰も彼の奈
良縣磯城郡耳成村耳成山に於ける螺線軌条の道路に軌
条をおきたる如き形体と相成候へば電車お設により
て外観上何等の異観を呈せざるべし、猶ほ軌条お設
後は左右線路の空地に無数の榊、楓、女などの樹木を補
植し以て線路帯に電車運轉の足目を遠近より眺めし
得べからざる施設を加ふる事に努力すべし存意に依
て候

本行
子株
油

本行
字抹消

近時之公園設定の議ありとゆへ、此の時に當り周圍
六里余を有する物も奈良公園は其の候補に算せらる
るや否や之れを知りに難しと雖も今いままも公衆の娯楽
機關を欠如せる奈良公園に於て此の登山電車及び
便により幾多の劣勝を蹟に富み且つ百年存続を
加へざる芳山、花山、春山等の仙郷に於て遊覧客の足
跡を下せしむる機会を尋ねしむる者存すとせば
往來交通不便のたゞ多敷く遊覧客の曾し足を運
ばざる奥の奈良公園を天下に留めず一端と成候
べし至幸限なく時代の趨勢に順應すべきかと存候
三 会社将来の計畫

右鉄道が改良許可後は直ちに会社創設之準備に着手
し会社成立後は迅速に工程を進め事業に着手する意
意にして事業開始後は第一二期線として將來嫩草山一
重目の終点より並東に二期目の谷向を這ひ三期目の並
方谷向に出で奈良市山田村に終点を設くる線路を
お役し山田村一町の閑静にして廣大なる土地を南極
し以て多敷の住宅を建設する外種々なる社会的施
設を加へんとする意圖に依り
以上の次第なるが何卒至急に請願の上申請可被下
右出願理由書相添へ奉願上候也

大正 拾陸年 拾月 拾七日

奈良市表の野町三十三番地ノ四

發起人代表者 山下利平

鐵道大臣
大木遠吉殿

起業目論見書

壹、目的

本會社ハ地方鉄道法ニ據リ奈良縣奈良市雜司町字手向山四百番地々内ニ於テ山麓ヲ起矣トシ嫩草山北背側面ノ森林内ヲ迂回曲折シテ山頂ニ達スル電氣鐵道ヲ敷設シ一般旅客運輸ノ業ヲ營ムモノトス

貳、

商號又ハ名称及主ナル事務所、設置地名 称 嫩草山登山電氣鐵道株式會社事務所 奈良縣奈良市春日野町貳拾番

奈良市 小川工務所用紙
北天満町

地、四山下利平方

參、

鐵道事業ニ要スル資金ノ總額及其出資方法

資本金總額ヲ金拾五萬円トシ之レヲ參千株ニ分ケ壹株ノ金額ヲ五拾円トス而シテ總額ノ貳分ノ壹以上ヲ發起人及贊成人ニ於テ負擔シ殘餘ハ一般公衆ヨリ募集スルモノトス

四、

線路、起終兩矣及經過スベキ主タル市町村起矣奈良縣奈良市雜司町字手向山四百番地々終矣全地ハ

經過地全地内

五、軌間

軌條ハ重量電嗎ニ付キ五拾封度ノモノヲ用ユ

軌間ハ參呎六吋トス

線路ハ單線ニシテ中間(二本松停留所)ニ

於テ待避所ヲ設ケ軌道中心間隔

ヲ拾壹呎トス

六、動力

動力ハ電氣ヲ用井電力ハ東邦電氣

株式會社ヨリ供給ヲ受クルモノニシテ山

麓ニ變電所ヲ設ケ百キロワット直

奈良市 小川工務所用紙
北天満町

變壓器電臺ヲ据付ク

電線路ハ架空單線式トス

山下山上間建設費概算書

嫩草山登山電氣鐵道

延長壹哩〇壹鎖

項目	數量	單價	金額	摘要
測量工事費	1.01 哩		1,200.00	
用地費	23.1 畝			借地
土工費	2000.0 立坪	6.00	12,000.00	
軌道費	1.375 哩	4,500.00	6,187.50	附屬品一切
停車場費	3. 4所	1,500.00	4,500.00	
車輛費	3.	20,000.00	60,000.00	
諸建物費			3,000.00	
通信線路費	0.5 哩	800.00	400.00	
電力線路費	1.375	5,000.00	6,875.00	
小川事務所用紙				
變電所費			20,000.00	
建築用具費			1,000.00	
運送費			1,000.00	
柵垣環境費			800.00	
總係費			5,000.00	
創業費			1,000.00	
營業資金			3,000.00	
豫備費			24,037.50	
合計			150,000.00	
一哩當		148,514.554		

營業收支概算書

軌道三呎六吋 動力 電氣 敷草山登山電氣鐵道

正間山下山上間 延長 走哩 哋鎖

項目	數量	金額	摘要
旅客人哩	284,700	人哩	延長一哩トス
一哩當	284,700	"	
一日一哩當	780	000	一々年三百六十五日トス
旅客收入	42,705.000		
一哩當	42,705.000		
一日一哩當	117.000		一人一哩ニ付 厘十五奉トス
雜收入	500.000		
收入合計	43,205.000		

三井物産株式會社

一日一哩當	118.370		
營業費	26,250.000		借地料ニ含ム
一日一哩當	71.918		
益金	16,955.000		
建設費	150,000.000		
建設費ニ對シテ 益金割合	走哩 厘分 參 厘 強		

本行ニ付

山下山上間運輸數量表

嫩草山登山電氣鐵道

旅客

正間	哩數	人員	人哩	摘要
山下山上間	1.00 ^哩	250.	250.	片道
全	2.00	200.	400.	往復
山下=本松間	0.60	150.	90.	片道往復共
=本松山上間	0.40	100.	40.	全
合計			780.	
一日一哩當				

小松鐵道所用紙

非
關
於
本
鐵
道
之
事
務

嫩草山登山電氣鐵道株式會社假定款

第一章 總則

第一條 本會社ハ嫩草山登山電氣鐵道株式會社ト稱ス

第二條 本會社ノ目的ハ奈良縣奈良市雜司町字向山四丁目ノ範圍内ニ地方鐵道法ニ據リテ電氣鐵道ヲ敷設シ一般登山旅客運輸ノ業ヲ營ムモトス

第三條 本會社ハ本店ヲ奈良市ニ置キ但シ營業ノ都合ニ依リ必要ナル場所ニ出張所ヲ設クルコトアルベシ

第四條 本會社ノ資本總額ハ金拾五萬円トス

第五條 本會社ノ存立期間ハ滿五拾々年トス

奈良市 小川工務所用紙
北天滿町

第六條 本會社ノ公告ハ所轄裁判所ノ商業登記ヲ公告スル新聞紙ノ内ニ種以內ノ新聞紙ニ掲載シテ之レヲ爲スモトス

第二章 株式

第七條 本會社ノ株式ハ記名式ニシテ壹株ノ金額ヲ金五拾円トス
株式ハ壹株券、拾株券ノ貳種トス

第八條 株式ヲ讓渡シタルトキハ會社所定ノ名義書換請求書ニ株式ヲ添テ其當事者ヨリ連署ヲ以テ名義書換ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス
但シ其請求者代理人ナルトキハ其代理權ヲ證明スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

相續遺贈又ハ法律上ノ手續ニ依リ株式ヲ移
轉シタル場合ニ於テハ本會社所定ノ名義書
換請求書ニ其事實ヲ證明スベキ公正書ヲ添
ハ名義書換ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第九條

株券ヲ毀損シタルモノハ其旨ヲ書面ニ記入シ株
券ヲ添ハ新株券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第十條

株券ヲ喪失シタルモノハ其旨ヲ詳記シ保証人貳
名以上ノ連署ヲ以テ新株券ノ交付ヲ請求スル
コトヲ得

但前項ノ場合ニ於テ其事實ヲ調査シタル上
請求者ノ費用ヲ以テ其旨ヲ公告シテ拾日ヲ
經過スルモ尚第三者ヨリ故障ノ申立ナキトキハ

奈良市
北天満町

小川工務所用紙

新株券ヲ交付スベシ

第十一條

新株券ノ交付ヲ請求スルモノハ手数料トシテ新
株券壹株ニ付金參拾錢名義書換其他
更正ヲ請求スルモノハ株券壹枚ニ付金拾錢
ヲ支拂フベシ

第十二條

株主ハ本會社所定ノ書式ニ依リ其氏名住所
及印鑑ヲ届出ツベシ

株主ノ法定代理人ハ其氏名住所及其資格ノ
證明スベキ公正ノ書面ヲ本會社ニ届出ツベシ
前二項ノ事項ニ異動ヲ生シタルトキ亦同シ

第十三條

本會社ハ各計算期毎ニ公告ヲナシ參拾日
ヲ過サザル期間株式ノ名義書換ヲ停止ス

ルコトヲ得

第三章 株式拂込

第十四條 株金拂込ノ時期方法金額等ハ取締役會ノ

決議ヲ以テ之レヲ定ム

第十五條 株金ノ拂込ヲ怠リタル株主ハ拂込期限ノ翌日

ヨリ株主又ハ讓渡人ガ拂込ヲ爲シタル當日又

ハ失權株式競落當日ニ至ル迄金百円ニ付一日

金四銭ノ割合ノ遲延利息及爲ノニ生シタル

費用ヲ倍償セシム

第四章 役員

第十六條 本會社ニ在リ役員ヲ置ク

一 取締役 五名以内

奈良市 小川工務所用紙
北天満町

一 監査役 参名以内

第十七條 取締役中ヨリ互選ヲ以テ社長壹名又ハ

専務取締役壹名ヲ置ク

但シ事務ノ都合ニヨリ兩者ヲ併置スルコトヲ

得

第十八條 取締役及監査役ハ本會社株式百株以上

ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之

レヲ選任ス

但選舉ノ際全員者貳名以上アルトキハ抽

籤ヲ以テ之レヲ定ム

前項ノ選舉ニハ總會ノ決議ニ依リ指名

推薦ノ法ヲ用ユルコトヲ得

第十九條 取締役ノ任期ハ滿三ヶ年トシ監査役ノ任期ハ滿貳ヶ年トス

第二十條 取締役又ハ監査役ノ缺員ヲ生シタルトキハ臨時株主總會ヲ開キ補缺選舉ヲ行ヒ前任者ノ残任期間其職ニ就カシレ

但留任者ノ数が法定ノ人員ヲ欠カザルトキハ取締役會ノ決議ニ依リ補缺選舉ヲ延期スルコトヲ得

第二十一條 取締役ガ監査役ニ供託スベキ株式員數ハ五拾株トス

第二十二條 社長又ハ專務取締役ハ株主總會及取締役會ノ議長トナリ議事ヲ整理ス

奈良市 小川工務所用紙
北天満町

第二十三條 社長及專務取締役ハ本會社ヲ代表シ株主總會及取締役會ノ決議ニ基キ

業務執行ノ責ニ任ズ

第二十四條 取締役ハ取締役會ヲ開キ定款及株主總會ノ決議ニ基キ社務ニ關スル重要ノ事項ヲ議決ス

第二十五條 取締役及監査役ノ報酬ハ株主總會ノ決議ヲ以テ之レヲ定ム

第五章 株主總會

第二十六條 株主總會ハ定時總會及臨時總會ノ二種トシ定時總會ハ毎年四月及十月ノ兩度ニ於テ之ヲ招集ス

本件

第二十七條

株主總會ノ議長ハ社長之ニ當ル社長在任セザルトキ若クハ差支アルトキハ專務取締役其他ノ取締役之ニ代リ取締役ニ差支アルトキハ出席株主中ヨリ之ヲ選任ス

第二十八條

株主總會ハ招集者ヨリ豫メ株主ニ通知シタル事項ノ外他議ニ涉ルコトヲ得ズ

第二十九條

株主總會ノ決議ニ際シ可否相羊スルトキハ法律ニ明文アル場合ノ外議長之レヲ決ス

但シ議長ハ之レガ爲メ自己議決權ノ行使ヲ妨ゲズ

第三十條

法定代理人ヲ除クノ外代理人ヲ以テ議

奈良市 小川工務所用紙
北天満町

決權ヲ行ハントスル株主ハ其議決權ノ行使ヲ本會社ノ株主ニ委任スベシ

但シ其ノ代理人ハ株主總會開會前委任状ヲ本會社ニ差出スベシ

第三十一條

株主總會ニ於テ決議シタル事項ハ決議録ニ記載シ之ニ議長書記及出席株主姓名以上記名捺印スルモノトス

第六章 計算

第三十二條

本會社ノ營業年度ハ毎年四月一日ニ起リ翌年參月參拾日ニ終ルモノトシ四月一日ヨリ九月三十日迄ヲ上半期十月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ヲ下半期ト稱シ二期ニ区分

計算ス

第三十三條

本會社ノ損益計算ハ総收入金ヨリ総支出金ヲ引去リタル残額ヲ純益金トシ尤ノ順序ニヨリ分配ス

一 法定積立金

純益金百分ノ五以上

二 機械減損積立金

純益金百分ノ參以上

三 役員賞與金

純益金百分ノ五以下

四 株主配當金

但シ計算ノ都合ニ依リ別途積立金及後期繰越金ヲ為スコトヲ得

第三十四條

株主配當金ハ毎計算期末現在ノ株主ニ配當ス

奈良市 小川工務所用紙
北天満町

第三十五條

本會社ノ創立費用ハ金貳萬円以内トス

第三十六條

奈良縣奈良市春日野町武拾壹番地ノ四
山 下 利 平

奈良縣奈良市春日野町武拾壹番地

尾 田 利 吉

奈良縣生駒郡山崎大字柳並下同四番地

青 見 仙 佐 平

奈良縣添那東市村大字八島或拾五番地

松 石 平 四 郎

大阪市西區南堀江上通番丁目貳拾壹番地

小 田 龜 之 助

本會社

大改市西邑南堀江上通参町目計拾六番地

森谷ヤス工

奈良縣奈良市春日野町計拾番地二

尾田徳松

奈良縣奈良市春日野町計拾番地二

尾田徳松

奈良縣奈良市春日野町計拾番地二

尾田徳松

奈良縣奈良市春日野町計拾番地二

尾田徳松

奈良市 小川工務所用紙
北天満町





委任状

私共儀

今般山下利平ヲ代理人ト相定メ
尤記ノ權限ヲ委任候事

尙、嫩草山登山電氣鐵道敷設認
可申請ニ付申請人及會社設立
發起人總代トシテ當該官廳ニ對
スル申請、届出、追加、訂正書類作
成處理一切之件

貳、全許可命令書ニ依リ工事施行
認可申請及變更訂正ニ関スル一

切之件

參、發起人、追加及脱退ニ関スル處
理及出願ニ係ル一切之件

四、前參項ニ對スル複代理人選定
之件

右委任状仍テ如件

大正拾陸年拾壹月拾七日

大正言縣大正言市春日野町或番地

尾田利吉

奈良縣宇陀郡宇陀村春日野町或番地

音見仙伍

奈良縣宇陀郡宇陀村大正言島或拾五番地

奈良市 小川工務所用紙
北天満町

松石平日記

大阪市西區南堀江上通券自得拾番地

小田龜之郎

大阪市西區南堀江上通券町目貳拾六番地

森谷 十六工

奈良縣奈良市春日野町貳拾六番地

尾田 卯之松

奈良縣奈良市春日野町貳拾六番地

尾田 松太郎

奈良縣奈良市雜司町壹百零壹番地

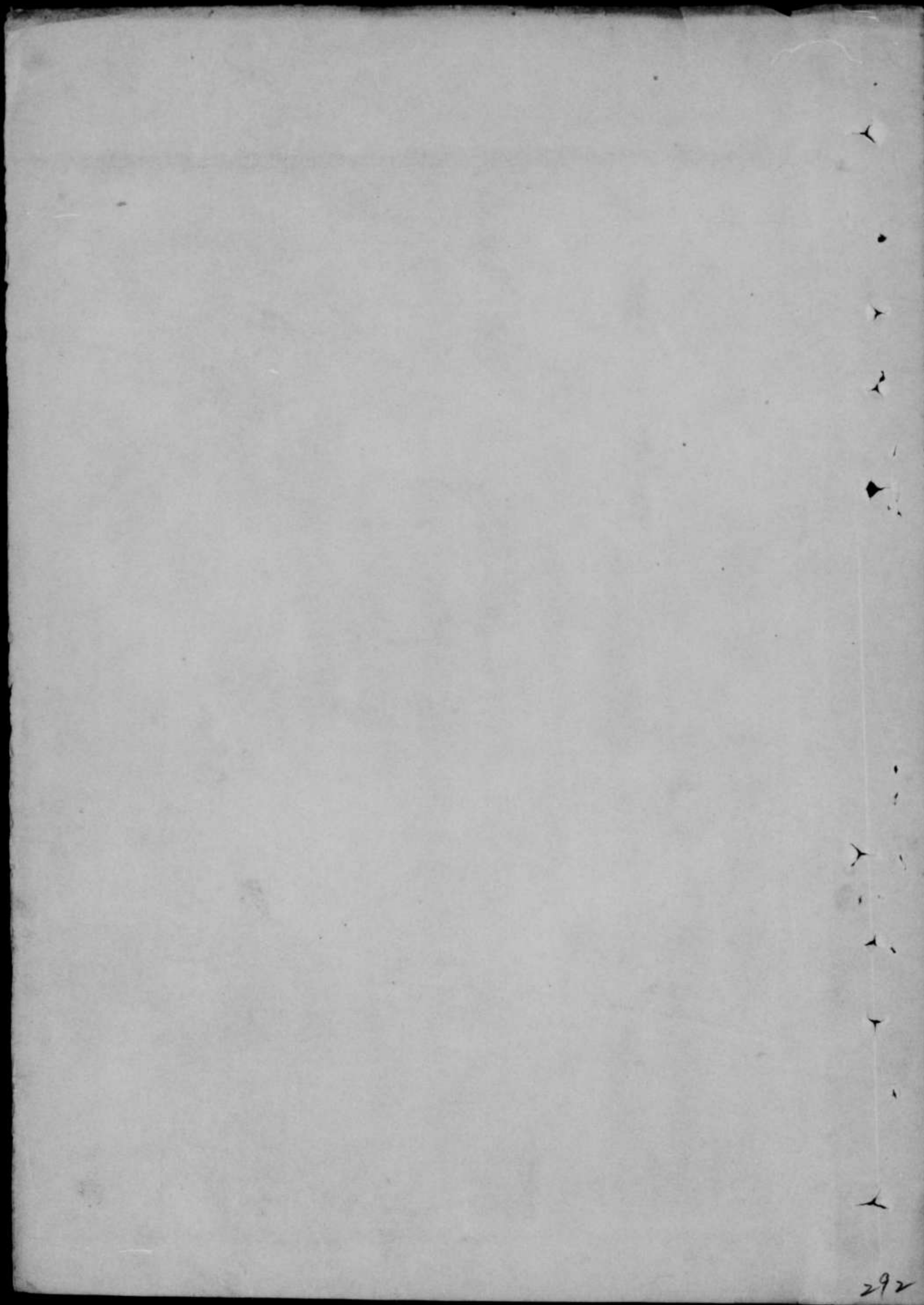
尾田 徳松

奈良縣奈良市押上町廿六番地

奈良市 小川工務所用紙

北天満町

尾田 喜吉

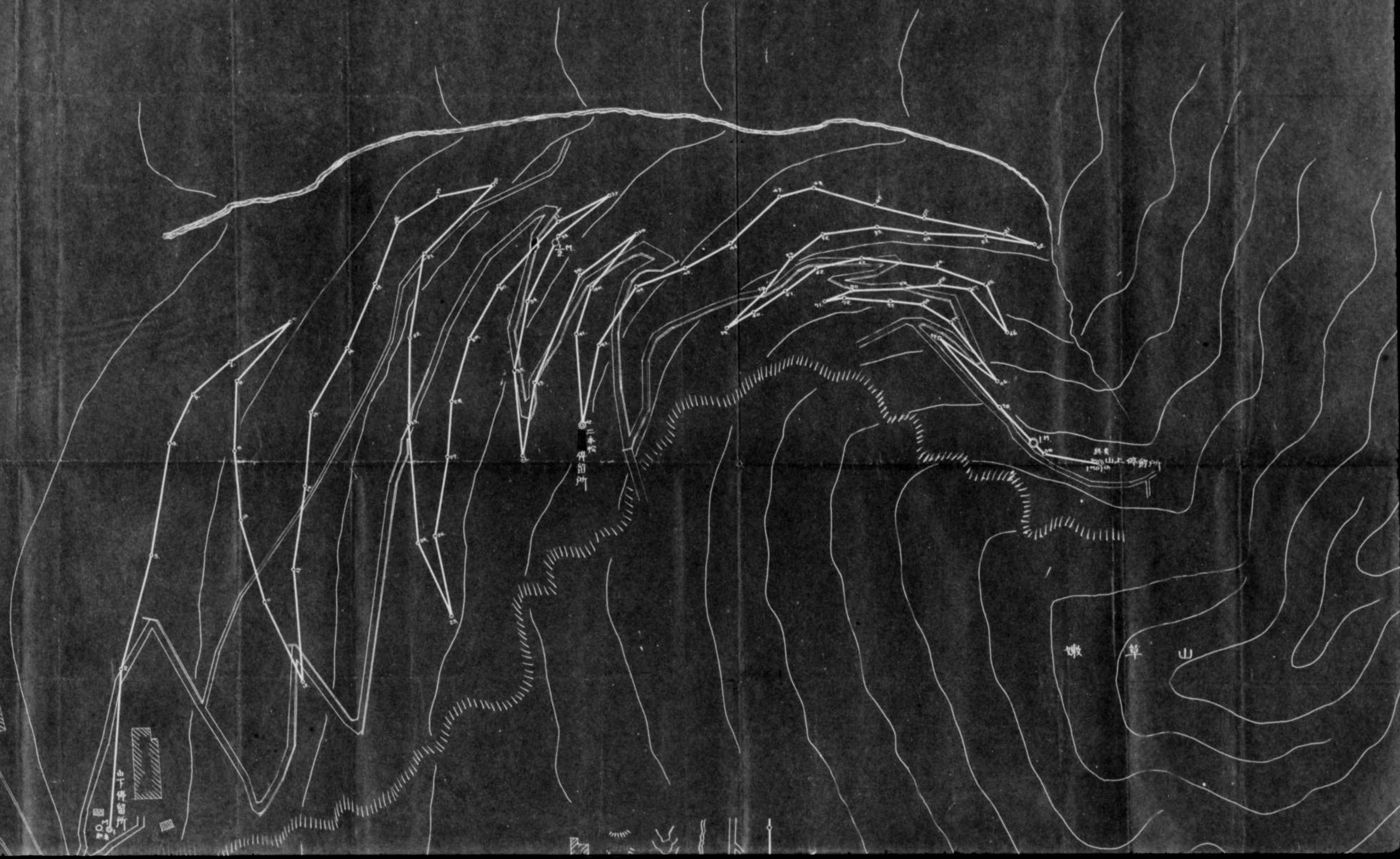


292

裏面白紙

嫩草山登山電氣鐵道線路豫測平面圖

縮尺以壹吋

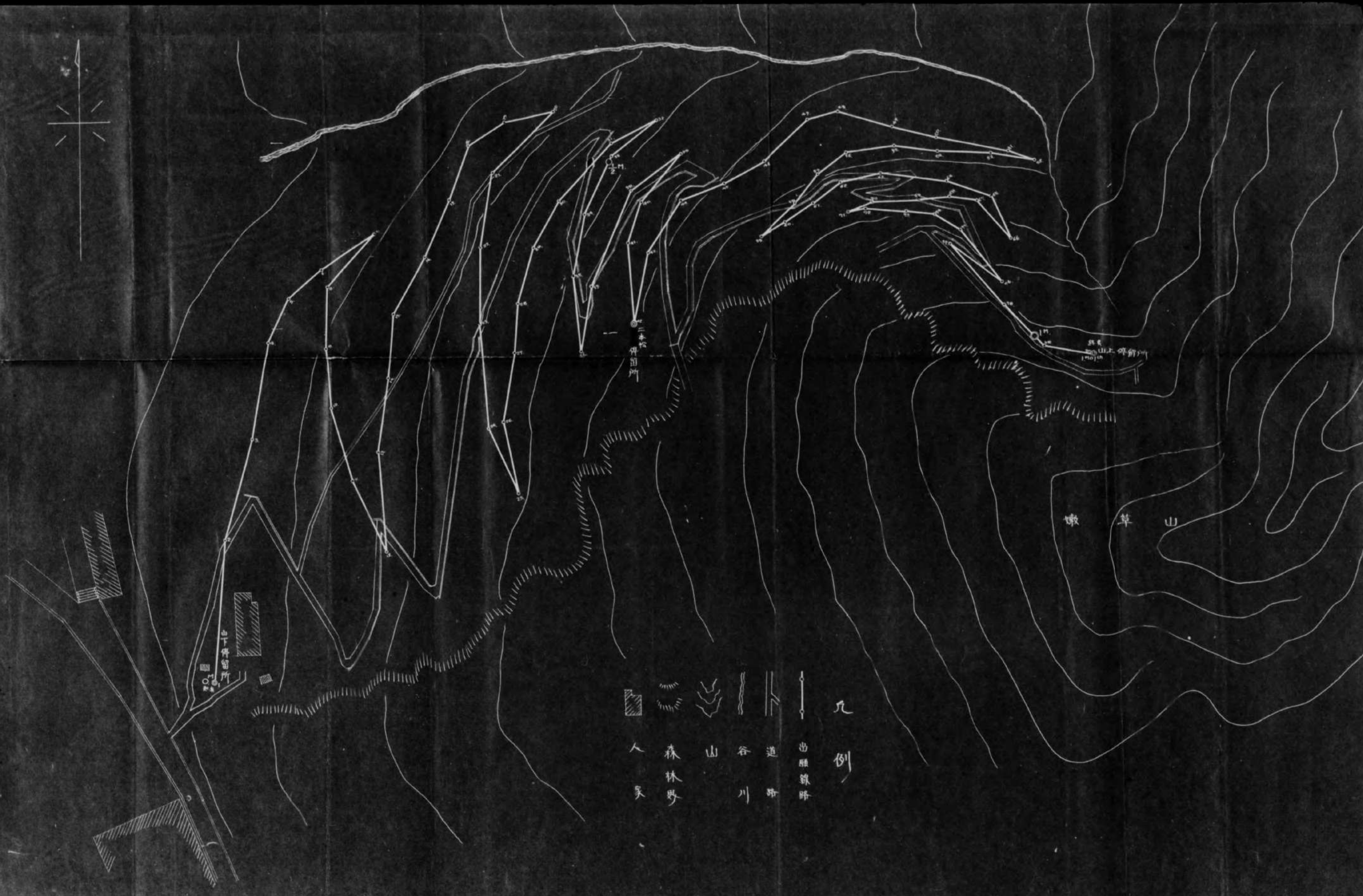


嫩草山登山電氣鐵道線路 豫測平面圖

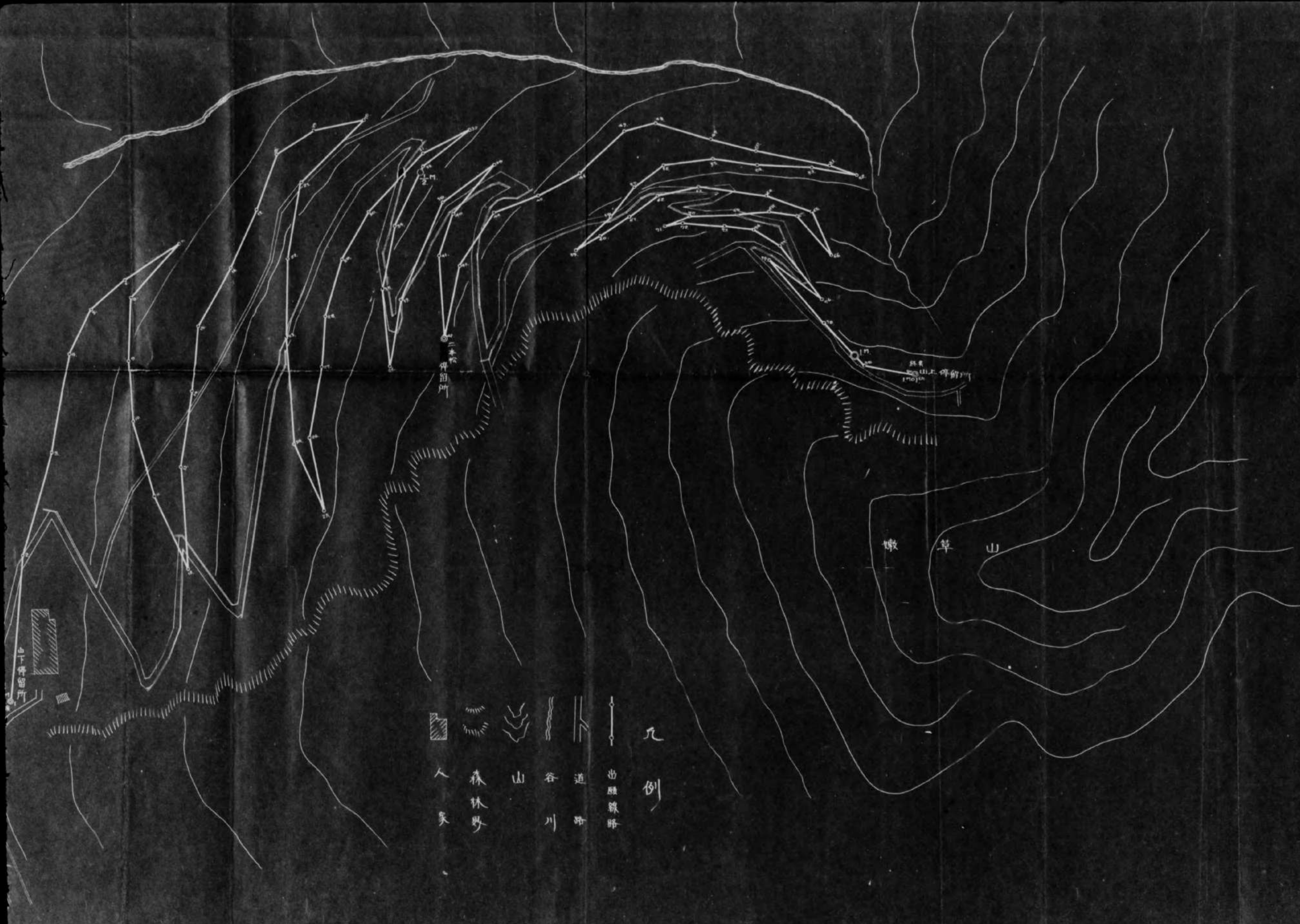
縮尺以壹吋為壹鎖



擔當技術者 小川



 人
 森林
 山谷
 川
 出願線
 凡例



擔當技術者 小川宇三郎



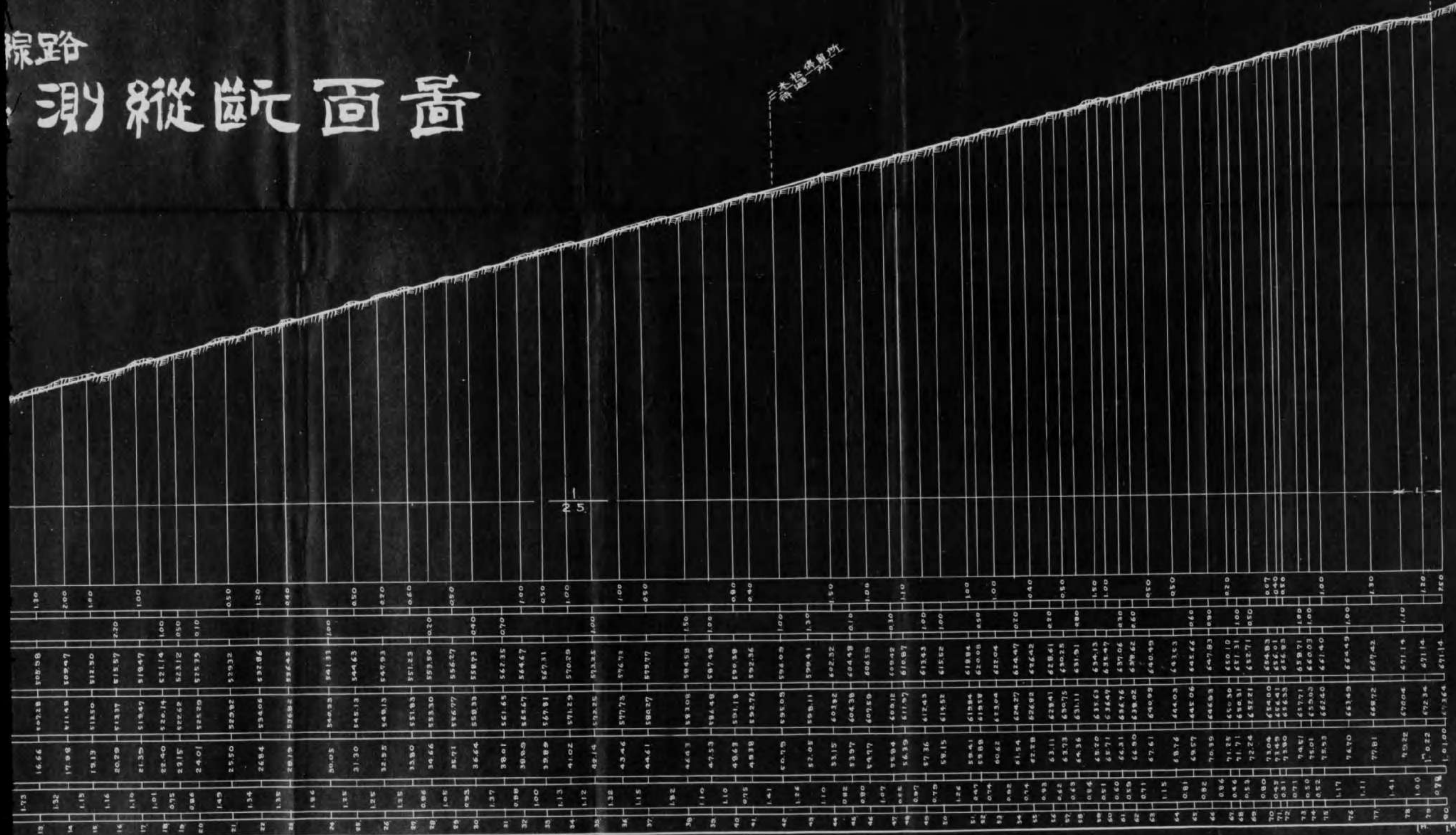
裏面白紙

線路

測量斷面圖

測量所
1014

本所
測量所



塔富技術者 小川宇三郎

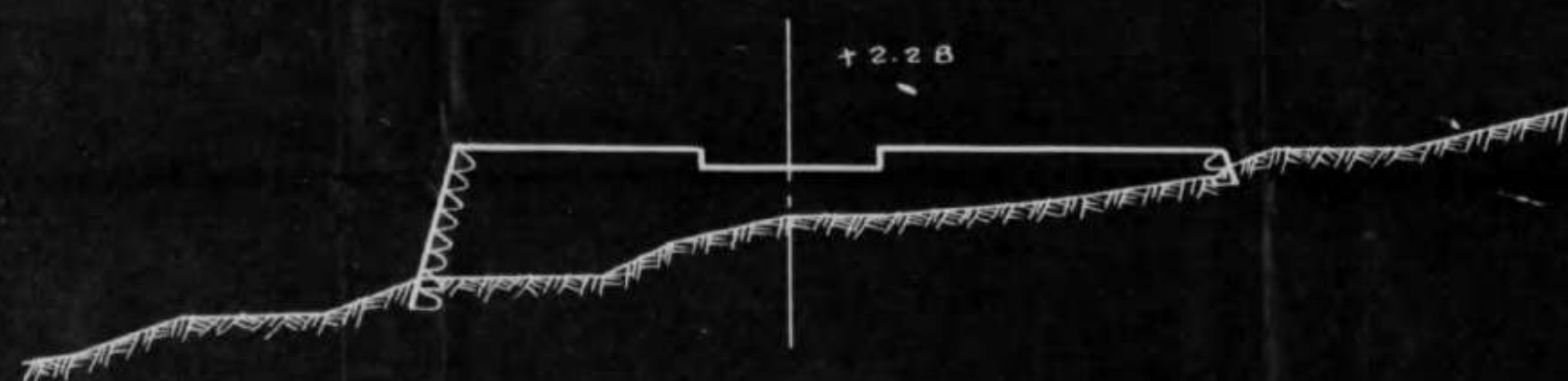


裏面白紙

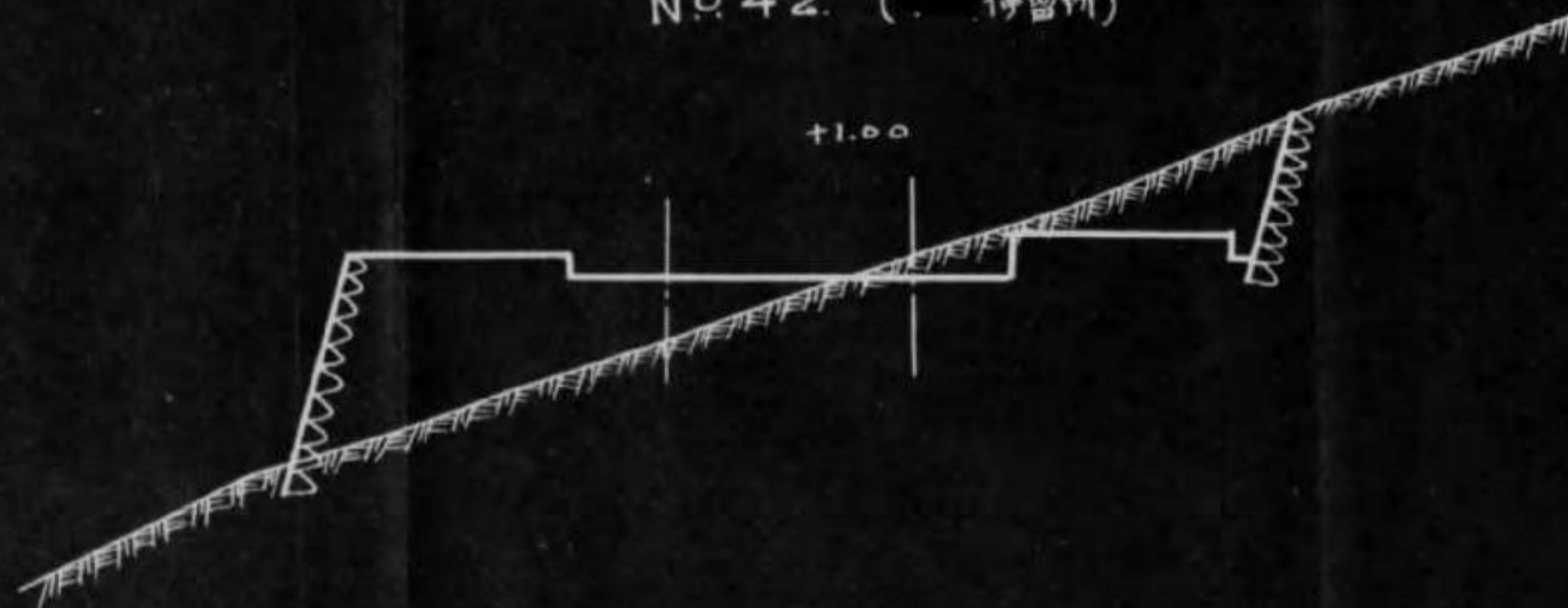
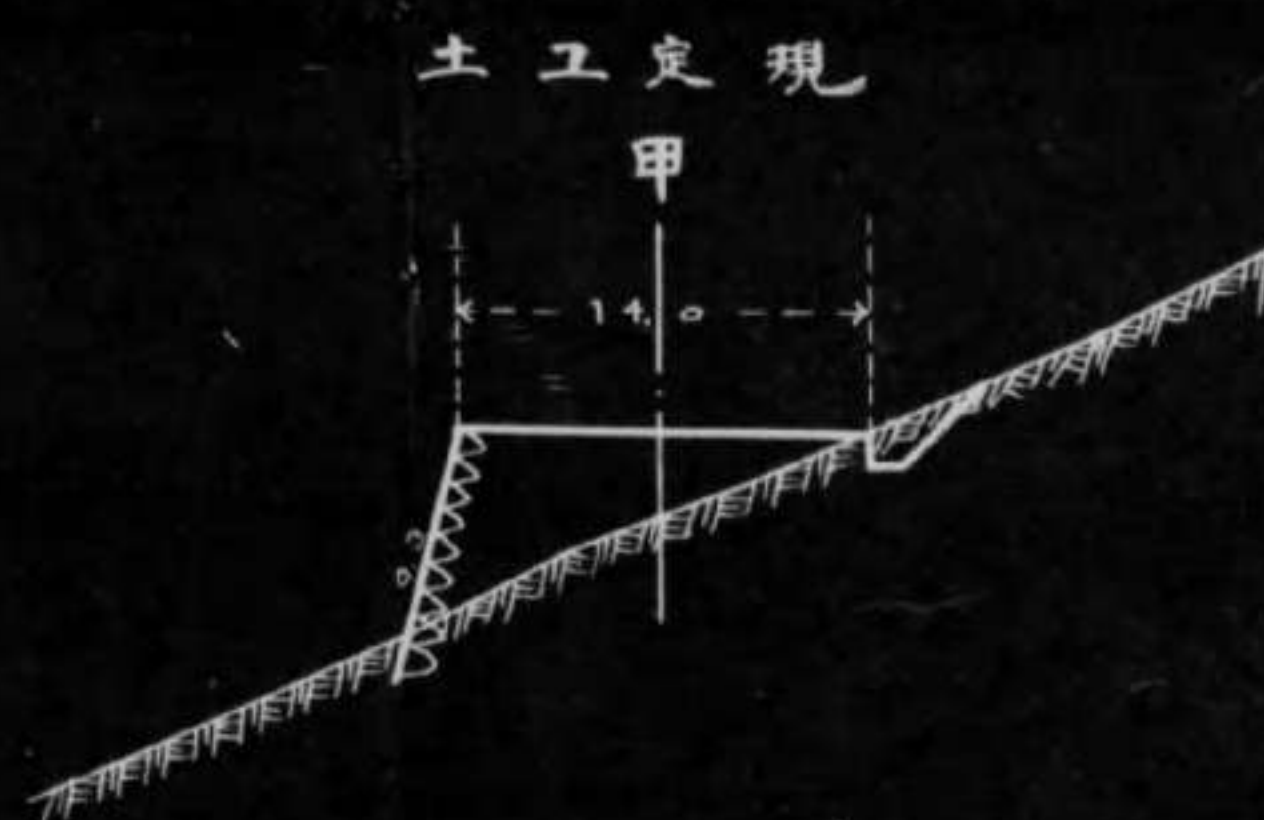
嫩草山登山電氣鐵道線路 停留所横断面圖

NO1. (山下停留所)

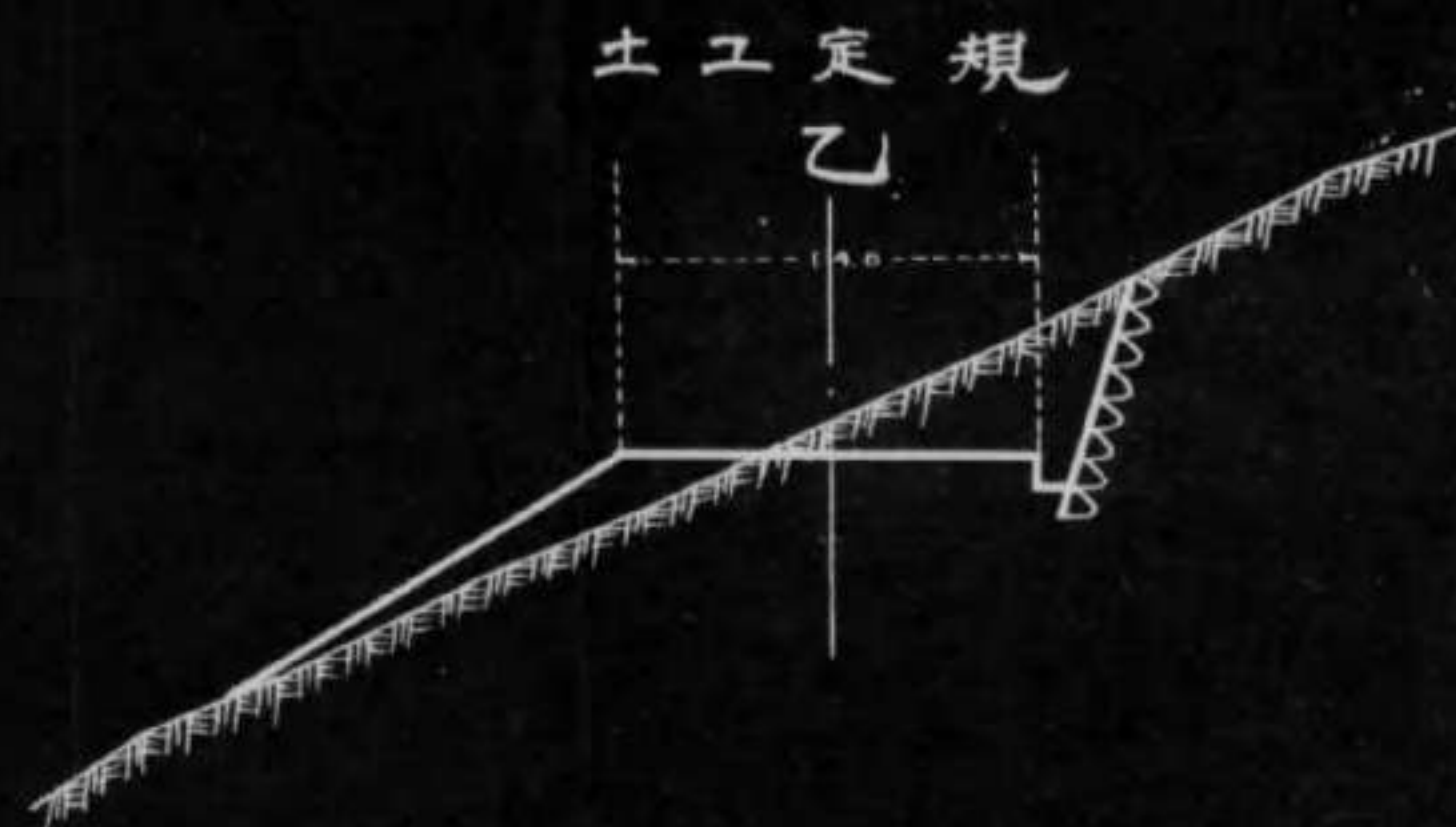
縮尺百分一



NO42. (二本松停留所)



NO80. (山上停留所)



擔當技術者

小川宇三郎



裏面白紙

